

# 令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立西中島小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

|         |            |
|---------|------------|
| 区 名     | 淀川区        |
| 学 校 名   | 大阪市立西中島小学校 |
| 学 校 長 名 | 田原口 昭貞     |

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

### (2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立西中島小学校では、第6学年 6名

## 令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立西中島小学校の結果概要

国語科では、平均正答率が全国に比べ3.1%高く、平均無解答率は2.1%低い結果となった。学習指導要領の内容としては「情報の扱い方に関する事項が全国に比べ31%差で一番高く、一方「読むこと」が全国に比べ7.6%差で一番低い結果となった。

算数科では平均正答率が全国に比べ14.6%高く、平均無解答率は3.2%低く、無解答率は0%であった。学習指導要領の領域としては、「B図形」が全国に比べ32.3%差で一番高く、その他のすべての領域において、全国平均を上回る結果となった。

### 分析から見えてきた成果・課題

#### 教科に関する調査より

##### 【国語】

国語科では情報の扱い方に関する事項が高く、「話すこと・聞くこと」も高い結果となったことから、日常的なICTの活用や、自分の考えを交流しあう場の設定が成果となって表れたと考えられる。一方「読むこと」の結果から、物語文の指導や、読書活動について見直しが必要である。

##### 【算数】

全体的に全国平均より高い結果となり、ICTを活用した視覚教材を取り入れた授業展開により、図形領域が一番全国比で高い結果となった。今後も日常的にICTを活用しながら課題解決型の授業を進めていく。

#### 質問調査より

「自分にはよいところがあると思いますか。」は最も肯定的な回答が全国を上回った。これまでも高い結果が続いており、学校、家庭、地域全体で子どもたちを認めながら育てていく風土が醸成されていることがわかる。また「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」も肯定的な回答が100%と、これまでのいじめは絶対に許さないという「大阪市いじめ対策基本方針」をもとにした取り組みの成果が見られた。

### 今後の取組（アクションプラン）

- ・大阪市の「ティーチング・エンパワーメント事業」をもとに、授業改善や、児童への支援充実をすすめていく。
- ・大阪市の推進する「総合的読解力育成カリキュラム」を活用し、横断的で探究的な学習をすすめていく。